

● 8月16日(火) 曇・霧 黒松内岳(739.8m)

○ ブナの北限・黒松内岳。昨年は霧の中の山行だったが今年もまた天気が悪く、霧の中を歩いた。

・昨夜は一時大雨が降っていたが間もなく止んだ。

朝5時半起床。空は曇っているが明るい。よし今日は予定通り黒松内岳へ登ろう。

・朝食、朝の支度をすませ7時に道の駅を出て、道道9号線から林道に入り、登山口に7時半過ぎに着いた。

天気はあまり良くない、曇っている。

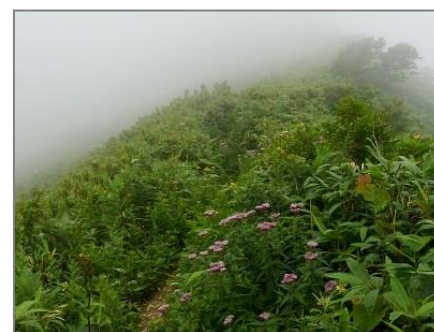
入山者届を見ると、昨日は数人入っていたようだが今日はまだ誰も記入が無い。昨年と同じく 今年も入山者は私一人かな。



・入山届けに記入して登山口からすぐ始まる直登の急坂をのんびり登り始めた。いつまで続くのかと思うほど長い直登の急坂を登り詰めるとだんだんブナの木が目立ってくる。



・尾根に出ると鬱蒼としたブナの林になり、薄い霧にかすんで広がる立派なブナの林に畏敬の念すら感じながら尾根道を歩いた。



・ブナの林を抜けると草付きの尾根道がしばらく続く。いろいろな花が咲いていて、天気が良ければ眺めも良いだろうし楽しい尾根歩きが出来るだろうな、と昨年に引き続き今年も霧の中を歩くことになったことが大変残念に思えた。

ヨツバヒヨドリ、トウゲブキ、トモエシオガマ、エゾシオガマ、ナガバキタアザミ、ヤマハハコ、エゾルリトラノオ等々結構花の豊富な山だ。



ヨツバヒヨドリ



エゾシオガマ



ナガバキタアザミ



エゾルリトラノオ

・九合目から山頂までが標高差 50mしかないが、ここまで歩いてきた草付きの尾根道とは打って変わり悪路の急坂で、ほぼ全長に張られたロープに掴まりながら登る、約 10 分間の苦闘だった。



・山頂は笹の生えた狭い平地だが、濃い霧に包まれて視界が全く無い。昨年と同じ。晴れていたらどんな景色が見えるのだろうかと思像しながら、登頂の記念写真を撮ってすぐに下山した。一日中霧の中だったが雨に降られることは無かった。

・下山の途中、霧に煙った尾根筋の笹藪の中で、何か異様な音が聞こえた。すわ！ヒグマか！一瞬背筋が寒くなり、熊鈴をジャンジャン鳴らしながら一目散に下山した。結局今日入山したのは私一人だったようで無事下山できて良かった。慌てて必死で山を下ったので登山口に着いたのはまだ 10 時半だった。



登山口には私の車 1 台だけだった

◎今まで 10 年の北海道山紀行の中で思い起こすと、ヒグマの脅威を感じたのは 3 回くらいかな。名寄のピヤシリ山で聞いた唸り声、狩場山で遭遇した糞の数々と足跡、そして今日の霧の笹やぶから聞こえた物音。やはり普段は殆ど誰も入山しないようなマイナーな山は恐いな。

・黒松内の町に戻り温泉「ブナの森」でゆっくり汗を流した。天気は意外に良くなり薄日もさすほどだ。昨年すぐそばで見つけた駐車公園へ行き、洗濯、洗車、昼食と用事をすませ、洗濯物を乾かしながらのんびり休息。やはり台風の余波なのか天候が不順で、2 時頃になったら雨が降って来た。慌てて洗濯物を取り込み車の中へ逃げ込んだ

・今日の黒松内岳で今回予定した山は藻琴山を除いて全て登った。これで帰宅の途に着くことになるが、今回はこれから青函フェリーで青森に出て、4 年ぶりで東北の被災地を回って帰る予定だ。ということで青函フェリーに予約を入れた。なんと、予約が 21 日まで一杯で空いていないという。一番早いのが 21 日の早朝 4 時半のフェリーということで、仕方なくそれを予約した。ちょうど夏休みが終わり内地へ帰る人が多く、その上今年は北海道に上陸する台風が何個もやってくるので、早く帰らないと帰れなくなってしまう危険があるので、帰りのフェリーに殺到したようだ。

・21 日まで 5 日もある、どうやって過ごそうか。とりあえず今日は森町の道の駅「you 遊モリ」に泊まることにした。長万部に出て国道 5 号線を噴火湾に沿って南下して 4 時前に森町に着いた。明日台風がこの辺りを通過するらしいが、今はなんとか雨は降っていない。久しぶりで来た道の駅「you 遊モリ」、昔岡崎からハイエースで来ていたおじさんとここでビールを飲んだのが懐かしく思い出された。

天気も悪いしやることもないので、早々に夕食を済ませ 7 時に寝た。

● 8月17日(水) 大雨(台風) 移動(森町から鹿部町へ)

○ 今日は台風が直撃。大荒れのなか鹿部町へ移動した。夕方には台風も通過して天気が回復した。

・昨夜は夜中にかかなりの雨が降った。天気予報では台風が関東をかすめて通り、今日北海道道東を通過するとか。この辺りに大雨の予報が出ている。今日は一日中雨とのことなので今朝はのんびり6時に起床。外は小雨がパラついている。朝食後雨が止んだのでパソコンを開いて週刊ヤマケイ投稿の原稿を書き始めた。しばらく書いたらまた雨が降りだしたのでパソコンを閉じて車内に避難した。もう何もやることない、どうしよう。



・10時に道の駅が開き、店とレストランが開店した。

2Fのレストランの入り口に、混雑した時の空席待ちのためかと思われる前室があり、ここに椅子と机と電気のコンセントがある。朝早いし、天気が悪いので客は殆どいない。さっそくパソコンを持ち込んで週刊ヤマケイ投稿の原稿の続きを書き始めた。まるで私に個室を用意してくれたようで、誰にも邪魔されることなく仕事ははかどった。ヤマケイへの投稿を済ませ写真の整理など思う存分パソコンを使うことが出来た。



・12時半になったので、部屋を無断で使わせてもらったお礼も込めてレストランで昼食をとった。

野菜カレー(750円)を食べたが、これがまた野菜が多くて味も良く、Good!

・外は台風の影響の雨が一段と強くなって降っている。天気予報を見ると台風は今日中に通過して、明日は天気が回復するという。今回の紀行で登れたら登ってみたいと調べておいた大沼駒ヶ岳へ登ってみよう。何しろ21日までフェリーが無くて帰れないので、この辺りで時間をつぶさなければならぬ。

・駒ヶ岳登山口は赤井川にあるから、ここ森町から南に行けばすぐだ。今日はここに停滞するか。でも大雨で外に出られず車の中でじっとしているのは耐えられない。とにかくどこかへ移動したいと、森町を後にして国道278号線を走って砂原に向かった。道は前が見えないほどの大雨で車は殆ど走っていない。砂原には道の駅「さわら」があり寄ってみたが、今日は誰もいない。駅舎は3回建てで展望台があり、晴れていれば目の前に駒ヶ岳の雄姿が見えるのだろうな。今日は外は大雨で霧の中だ。



道の駅「鹿部間歇泉公園」・車中から撮影
(雨で画像が歪んでいる)

・さらに先へ進み鹿部町をめざした。ここは間歇泉の公園と温泉で知られているが、最近道の駅「鹿部間歇泉公園」が開設された。大雨の中、鹿部に4時前に着いた。ここから大沼へ入る道があるので、今日はここに泊まって明日駒ヶ岳をめざすことにした。間歇泉見学が出来、蒸気で卵をゆでたりして遊べる公園なので、晴れていたら結構楽しめると思うところだろうが、今は外へ一歩も出られないほどの雨が降っていて遊ぶところではない。

・車内で早めの夕食をとって、車内でじっとして時間の経つのを待った。

台風の接近で北海道中大荒れらしく、函館には避難勧告が出たとラジオで放送していた。(ここはテレビが映らない)

・ 6時頃に、なんと雨がやみ空が明るくなってきた。
台風が去ったのか？ 今回は雨はひどかったが風はそれほど吹かなかったな。

7時前には青空も顔を出し、夕焼けが美しく輝いた。



- ・ 明日は台風一過の晴天が無違いなさそうだな。
- ・ 夜中にトイレに起きたら空には満月が煌々と輝いていた。
- ・ 明日の駒ヶ岳を夢見て就寝した。